CASBEE®-建築(新築) ▌評価結果▐

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　|使用評価ソフト：osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

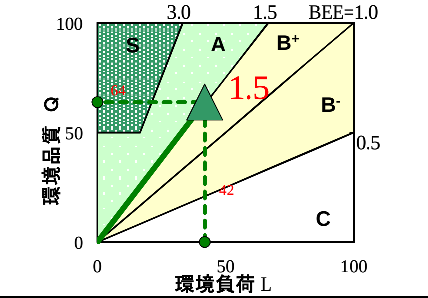
建物名称	吹田市立千里第二小学校校舎等増	階数	地上4F、地下1F
建設地	大阪府吹田市千里山松が丘	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居、防火地域指定な	平均居住人員	300　人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960　時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月　予定	評価の実施日	2020年01月23日
敷地面積	2633.85(想定) ㎡	作成者	中尾　嘉久
建築面積	1,599 ㎡	確認日	2020年01月28日
延床面積	3,227 ㎡	確認者	吹田市長 後藤 圭二

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE =1.5 ★★★★☆

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★

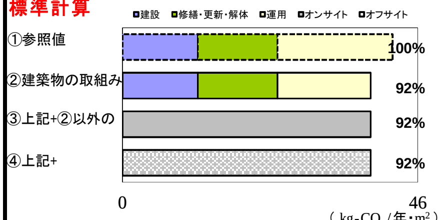


2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

★★☆☆☆

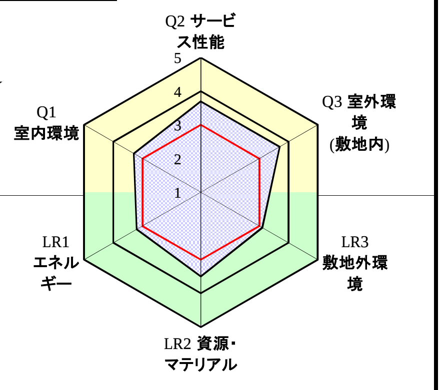
30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

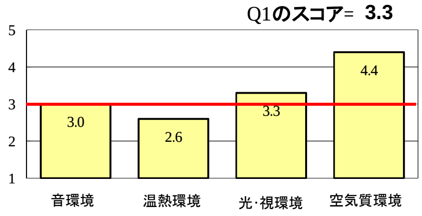
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



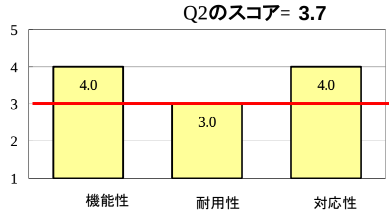
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　Q のスコア= 3.5

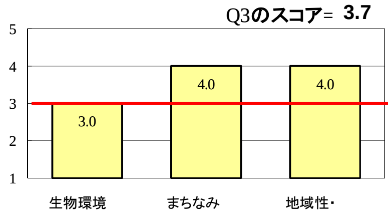
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.3



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.7

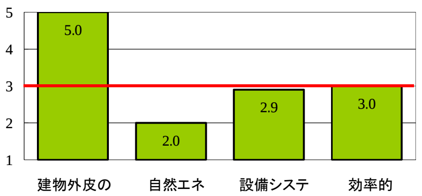


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.7

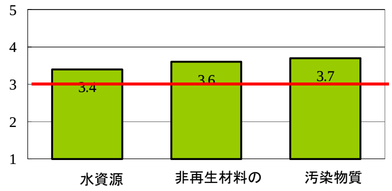


LR 環境負荷低減性　LR のスコア= 3.3

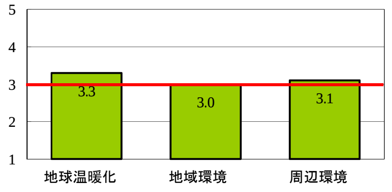
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.2



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境　LR3のスコア= 3.1



3 設計上の配慮事項

総合

学生に配慮しF☆☆☆☆を採用している。

その他

特になし。

Q1 室内環境

F☆☆☆☆を採用している。

Q2 サービス性能

主要給排水配管は耐用年数が長い。

Q3 室外環境（敷地内）

植栽をし、良好な環境を形成している。

LR1 エネルギー

断熱性が高い材料を使用している。

LR2 資源・マテリアル

節水型便器、自動水栓を使用している。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO2排出率92%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版
大阪府の重点評価（結果）

受付番号 H31-0157

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	吹田市立千里第二小学校校舎等増築工事	
	建設地	大阪府吹田市千里山松が丘	
	用途／区分	学校（小中高）	
【評価結果】	CASBEE 総合評価	★★★★☆	A
①	CO2削減	★★★☆☆	3
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★☆☆	3
③	建物の断熱性	★★★★★	5
④	エネルギー削減	★★★☆☆	3
⑤	自然エネルギー直接利用		—

再生可能エネルギー利用施設の導入状況								
	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

エネルギー消費量の報告	報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3－1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3－1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3－3．2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3－2．2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1－1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1－3」のスコアによる評価	2.9	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1－2」のスコアによる評価	2.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		